

2019.03

春

広島県 医療勤務環境改善支援センター

News Letter



春号から、勤務環境改善のための対策について考えていきます。

Q. 特定の人に業務が集中して困っています。どうしたら良いですか？



いろいろな対策が考えられますが、中でも効果があると言われている対策の1つに業務の移管（以下、タスクシフティング）があります。

タスクシフティングには、医師事務作業補助者や看護補助者等、他職種の配置によるものがまず挙げられますが、院内でのチーム医療の推進や地域での連携も大きな意味でのタスクシフティングと考えられます。これらにより、医療安全や医療の質を高めつつ、診療報酬の評価も活かして経営の質も向上させていこうというものです。

また、2019年4月施行の「働き方改革関連法」適応の面でもタスクシフティングは有効と考えられます。

● 他職種の配置、連携、活用の強化

- ・ 医師事務作業補助者の配置
- ・ 看護補助者の配置
- ・ 薬剤師の病棟配置



● チーム医療の推進

- ・ 栄養サポートチーム
- ・ 呼吸ケアチーム
- ・ 患者搬送チーム等の設置
- ・ 施設内でのリリース体制の整備

● 地域での連携

- ・ 外来の縮小、逆紹介
- ・ 地域医療との連携
- ・ 在宅医療、介護との連携

☒ 勤務環境改善策『タスクシフティング』

※医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（H30.3改訂）より抜粋、編集

最近の活動

「第4回医療勤務環境セミナー」の開催

平成31年1月31日(2019年)、アークホテル広島にて「第4回医療勤務環境セミナー(主催:広島県医療勤務環境改善支援センター、以下「センター」)が開催され、29施設から36名が参加されました。

セミナーでは、広島県健康福祉局医務課 村井 真主幹の挨拶の後、センターより「医療安全と勤務環境 ～負担少なく勤務環境を改善するために～」について講演しました。続いて、熊本県 菊南病院の成松則子事務長より「菊南病院での勤務環境改善の取組 ～開始から10年、見えてきたもの～」と題して講演があり、その中で役職者の離職を防ぐための希望降任制度や、早期離職を回避するためのきめ細かい新人面談など、菊南病院での実践を踏まえた貴重なお話がされました。また、離職を防ぐためにはハードだけでなく、コミュニケーションなどソフト面の整備も重要であり、今後は役職研修などを通じて「お互いさま」の風土づくりを行っていききたいと紹介されました。

最後に、広島労働局 上内隆司氏より「働き方改革関連法」について、最近多い問合せ事例などを含めて講演されました。



セミナー風景 壇上は成松則子事務長



「医療勤務環境カイゼン読本」リリース

勤務環境改善に取組みたい、具体的な活動を起こしたいが、どうやって取組んだらよいかよくわからないといった時などのために、厚生労働省が示した「手引き」※をもとに、医療勤務環境マネジメントシステムのポイントをわかりやすくまとめた「医療勤務環境カイゼン読本」(A5版 13頁)を作成しました。

ご要望等は、下記センターまでお問合せください。

※医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(H30.3改訂)

お問い合わせ

広島県 医療勤務環境改善支援センター 広島県健康福祉局医務課内

TEL:082-513-3056

受付時間:(平日)10時~12時、13時~16時
(土日祝日、年末年始を除く)